

## 第1回 宮城県震災遺構有識者会議の開催について

沿岸被災地に残る震災遺構は、東日本大震災の脅威を後世に伝え、自然災害に対する危機意識や防災意識を醸成する上で効果的であると考えられますが、震災がれきの処理期限が迫り、各地では遺構の解体が進み、また、解体の方針が示されるなどの状況下において、この度、国から遺構保存の具体的な支援策が示されました。

これらを踏まえ、県としては、震災遺構について客観的視点から検討していくことが必要だと考え、有識者会議を設けて保存すべきものを取りまとめ、県としての考え方を市町に提示することとしたものです。

なお、このことは去る11月22日の被災15市町の首長会議で御賛同をいただいたものです。

については、第1回目の有識者会議を下記のとおり開催します。

### 記

1 会議の名称 宮城県震災遺構有識者会議

#### 2 会議の目的

震災遺構については、東日本大震災の脅威を後世に伝える上で重要な役割を担うなど歴史的価値が高いと考えられるものや、防災教育に有効と考えられるものなどがあり、また、それらは県の沿岸被災地域全体を広く見据えた上で判断すべき視点が必要であることから、県が被災市町に考え方を提示するにあたり、専門的かつ客観的な視点で議論し意見をいただくことを目的としています。

3 会議の構成員 9名（裏面名簿のとおり）

4 開催日時 平成25年12月18日（水） 午後2時30分から

5 開催場所 県庁9F 第一会議室

宮城県震災遺構有識者会議名簿

(敬称略)

所 属 ・ 職 名	氏 名
公益財団法人 東北活性化研究センターフェロー	牛 尾 陽 子
一般社団法人 キッズ・メディア・ステーション代表理事	太 田 倫 子
一般社団法人 減災・復興支援機構理事長	木 村 拓 郎
立教大学大学院教授	長 坂 俊 成
東北大学災害科学国際研究所所長	平 川 新
公益社団法人 日本建築家協会東北支部復興支援委員会委員長	松 本 純一郎
宮城県市長会会長（仙台市長）	奥 山 恵美子
宮城県町村会会長（利府町長）	鈴 木 勝 雄
宮城県震災復興・企画部長	伊 藤 和 彦

# 震災遺構の現状

平成25年12月18日  
宮城県震災復興・企画部  
地域復興支援課

市町	対象施設	保存の方針	住民意識の把握	解体		保存方法	復興事業との関わり	活用方法についての検討内容		
				時期	理由					
仙台市	仙台市立荒浜小学校	検討中	検討中(地域の代表者との意見交換を始めているが、従前地域に居住していた世帯を対象に意向調査を実施予定)	-	-	現地保存	支障なし	荒浜小学校については、今年度末までの予定で、校舎の残存構造性能調査を進めている。 平成26年度には、その調査結果をもとに、複数の利活用案を検討委員会に提示して意見を頂きながら、利活用案について取りまとめる予定。		
	一部保存									
石巻市	石巻市震災伝承検討委員会で検討中	検討中	検討中	-	-	石巻市震災伝承検討委員会の中で、保存手法等についても検討される予定	場合により支障あり(区画整理事業実施地内、護岸整備事業との調整など)	震災の記憶や教訓を伝承するとともに、防災教育等にも活用できるものとして。 ※具体的には、石巻市震災伝承検討委員会で検討される。		
塩竈市	野々島の津波湾	どちらでもない	していない	-	-	-	-	本市において震災遺構保存対象物として選考された3施設は、いずれも、特別名勝松島の指定区域内に存在しており、景観保護の観点から、保存の実施が困難である。		
	浦戸寒風沢の津波石									
	野々島崩壊地									
気仙沼市										
名取市	閑上小学校(解体未了の公共施設として)	どちらでもない(解体含む)	していない	-	-	-	支障あり(地盤かさ上げの上、現地再建により新たなまちづくりを行うこととしているため)	現在庁内で意向調査を行っている。		
	閑上中学校(解体未了の公共施設として)									
多賀城市	なし	-	-	-	-	-	-	-		
岩沼市	高大瀬遺跡で発見された平成・慶長・貞観の津波堆積物の地層	検討中	していない	-	-	検討委員会等を設置し、有識者の意見をいただきながら、保存方法を検討する。	場合により支障あり(地層露頭箇所を現地保存する場合は、排水機場計画、メガソーラー事業と協議が必要)	ひとつは現地で露頭している状況での公開活用だが、保存方法については検討を要する。 もう一つの案としては、土層全面で剥ぎ取りを行い、別施設での展示公開も検討している。 いずれにしても今回の災害だけではなく、過去にも同様の災害に見舞われていることを雄弁に示す資料であり、学術研究資料及び防災・減災教育の啓蒙普及となるように活用をしたい。		
東松島市	(優先順位1) かんぼの宿 松島	決定	している	-	-	-	現地保存	支障なし	民間事業者に貸与し、宿泊施設兼震災メモリアル施設、避難ビル等	
	(優先順位2) JR仙石線 野蒜駅プラットフォーム								震災メモリアルセンター兼観光交流施設	
亘理町	なし	-	-	-	-	-	-	-		
山元町	中浜小学校	検討中	していない	-	-	-	現地保存	支障なし	復興交付金事業第7回申請にて遺構保存調査事業が採択されており、今後は耐震調査を行うとともに、2月頃にはアンケートを行いたいと考えており、その後遺構保存のあり方検討会を開催し、保存の可否も含めて検討する予定である。	
松島町	なし	-	-	-	-	-	-	-		
七ヶ浜町	なし	-	-	-	-	-	-	-		
利府町	なし	-	-	-	-	-	-	-		
女川町	旧女川交番	検討中	検討中	-	-	現存するエリアのかさ上げ工事の支障となる直前(およそ平成26年秋までに)	鉄骨造のため塩害による損傷が激しく、今後も大きな影響が想定される。また、現存位置が造成工事後の都市計画道路にはみ出してしまう。	・現地保存 ・デジタルデータによる記録・保存・活用	支障あり(いずれも造成(かさ上げ)工事範囲内に位置する。加えて、個別の事業については「解体の理由」のとおり)	今後検討していく見通し
	女川サプリメント(薬局)			早くて平成26年年明け	女川漁港の災害復旧工事に支障がある					
	江島共済会館(宿泊施設)									
南三陸町	町防災対策庁舎	どちらでもない(解体含む)	していない	県に解体を依頼	町の方針として解体を決定したため	-	支障あり(当該地の活用に当たり一定程度の盛り土が必要となるため)	-		